



# あこがれと誇り

令和8年4月8日 校長 杉田 和彦

## 学校教育目標

心豊かな生徒  
意欲的・共感的に学ぶ生徒  
たくましく生きる生徒

## 〇着任のあいさつ〇

今年度4月から校長として着任しました杉田 和彦です。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進学、おめでとうございます。職員一丸となり、生徒に夢や希望を与える楽しい学校づくりを進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 〇4月8日 入学式・始業式～令和8年度スタート〇

4月8日、109名の新入生を迎え、令和8年度がスタートしました。

(以下校長式辞より一部抜粋)

さて、これから皆さんに川越西中学校での生活で大切にしてほしい三つのことを話します。

一つ目は「自ら正しく判断し、行動できる生徒」になってほしいということです。

中学生になると、小学生に比べ、行動の幅が広がります。行動の幅が広がるということは、これまでよりも自由になる面が増えるとともに、自分の行動に対する責任が生じてきます。これから、皆さんは大人に近づいていくわけですが、大人になるということは、責任を持った行動がとれるようになることも意味しています。「何が正しいのか」「何をすべきなのか」周囲の状況を見ながら自分のとるべき行動を正しく判断し、行動できるようになってください。

二つ目は「仲間と認め合い、高めあう生徒」になってほしいということです。

ここにいるすべての皆さんには異なる個性があり、一人一人異なる「良さ」「素晴らしさ」があります。足が速い人もいるでしょうし、勉強が得意な人もいると思います。このような分かりやすいものもあれば、「誰とでも明るく接することができる人」、「落ちているゴミをずっと拾える人」、「困っている人に気づき、声をかけるなど優しい心配りができる人」などたくさんあります。是非、互いに関わり合うなかで、仲間の「良さ」「素晴らしさ」を見つけ、認め合い、高めあっていけるようにしてください。

三つめは「何事にも前向きに楽しむことができる生徒」になってほしいということです。

これから始まる中学校生活の中には、各教科の授業や部活動、体育祭や合唱祭などの学校行事、清掃、毎日の当番活動など様々な活動があります。その中には、苦手な活動や興味の湧かない活動もあるかもしれません。しかし、何かを学び取ろうとする姿勢で臨めば、必ず何か得られるものがあるはずです。同じ挑戦をし、同じ結果になったとしても、気持ち次第でその価値は変わってきます。大変そうに見えるものでも、まずは前向きに楽しむ姿勢を大切にしてほしいと思います。

これから皆さんが川越西中学校の一員として頑張っていく姿を先生方は全力で応援させていただきます。



川越西中学生会公認  
キャラクター  
【かわにしー】